

令和7年度教育委員会予算見積総括表

令和7年度予算の基本方針

「第3期教育等の振興に関する施策の大綱」・「第4期高知県教育振興基本計画」に基づき、「きらっといきいき あったかい」高知家の教育の実現に取り組みます。中でも、学力向上・定着に向けた教育DXの推進や、地域への理解と愛着を育むキャリア教育等の推進、不登校の児童生徒の多様な教育機会の確保に向けた取組を強化します。また、高等学校の特色化・魅力化を図り、県内外からの生徒の確保に取り組みます。

一般会計

令和7年度予算見積額	21,665,407 千円
令和6年度当初予算額	19,264,851 千円
差 引 増 減 額	2,400,556 千円
対 前 年 度 比 率	112.5 %

高等学校等奨学金特別会計

令和7年度予算見積額	217,661 千円
令和6年度当初予算額	232,211 千円
差 引 増 減 額	-14,550 千円
対 前 年 度 比 率	93.7 %

(注)上記には、人件費を含まない。

令和7年度 教育委員会の施策のポイント

様式2

1.急速に変化する今後の社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進

※()は一般財源、[]は令和6年度当初予算

小中学校

拡 学力向上推進対策費(学力向上検証サイクル確立事業等) **47,085千円 (47,085千円)**
[R6:42,151千円 (42,151千円)]

デジタル 今年度の全国学力・学習状況調査において、課題として明らかとなった家庭学習習慣の定着や、一人ひとりの学習状況に応じた指導を充実させるため、AIとの対話による学習支援アプリを実証的に導入するなど1人1台端末を効果的に活用した学力向上対策を推進します。また、特に課題の見られた小学校の学力対策として、小学校教員を対象に、改善策を協議・共有する研究協議会を新たに開催し、校内研修の活性化につなげます。

■主な拡充内容：新対話型AI学習支援アプリの実証的導入（考え方や解き方のサポート、英会話や英作文の添削等に活用）

高等学校

拡 高校教育推進費(学力向上推進事業等) **130,443千円 (125,840千円)**
[R6:105,445千円(100,842千円)]

デジタル 学校全体で組織的に授業改善に取り組む体制を強化するため、全ての県立高校に授業デザインプロジェクトチームを設置し、それぞれの学校に即した校内研修を企画するなど学力向上に取り組みます。あわせて、授業外学習の充実、学習習慣の定着を図るため、AIドリルなどのデジタルツールの導入を拡大します。

■主な拡充内容：学校経営アドバイザー等による各校の授業デザインプロジェクトチームへの訪問支援
各校の校内研修で参考となるような授業改善研修パッケージの作成
(ICTの活用促進や授業デザイン力の向上に資する動画・資料等)
AIドリル、デジタルノートの導入拡大（利用生徒数 R6:6,942人 → R7:約8,100人）

拡 高校教育推進費(高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)) **127,500千円 (一千円)**
[R6.2月補正:100,000千円 (一千円)]

デジタル デジタル等の成長分野の担い手を育成するため、情報等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的で探究的な学びを強化する学校(DXハイスクール)に対して、3Dプリンタや地形測量用ドローンなどICT機器等を整備します。さらに、情報教育に特色を持つ学校を広げていくため、地元企業や大学等との連携を進め、プログラミング学習合宿などを県内横断的に実施します。

■主な拡充内容：DXハイスクール採択校(※)の拡大(R6:9校 → R7:継続9校+新規5校)

(※)文部科学省が全国で1,250校程度(R6:1,010校、R7:250校)を対象に事業採択
県内横断的な取組の実施(例:アプリ開発などのプログラミング学習合宿、県内IT企業による教員向け研修、成果発表会)

1. 急速に変化する今後の社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進(続き)

小中学校

拡

豊かな心を育む教育推進費等(キャリア教育強化プラン等) 元気な未来創造枠

27,589千円 (27,589千円)
[R6:10,836千円 (5,940千円)]

人口
減少

児童生徒の地域への理解や愛着を育むため、高知県の各地域の特色を生かした「ふるさと学習」やキャリア教育をさらに推進します。

- 主な拡充内容：新
- ①全市町村の中学生代表が集まり、それぞれの地域の特徴を生かした学習成果を発表するサミットの開催
 - 新 ②キャリア教育副読本「みらいスイッチ」に掲載された県内企業等の現場を小中学生が見学し体験しながら高知の仕事について学ぶツアーの実施
 - 新 ③学校ぐるみで地域の伝統行事や産業の継承に取り組む学習活動への支援
(地域活動支援事業費補助金：8,000千円)
・補助先：市町村 ・補助率：1 / 2 以内(上限1校あたり100千円)
 - 新 ④授業等で県内の企業や産業を学び体験する活動(企業見学や講演等)への支援
(キャリア教育促進事業費補助金：7,000千円)
・補助先：市町村 ・補助率：1 / 2 以内(上限1校あたり100千円)

高等学校

拡

高校教育推進費(キャリアアップ事業等) 元気な未来創造枠

46,455千円 (46,455千円)
[R6:34,277千円 (30,302千円)]

人口
減少

将来のUIターンを含む若者の県内定着につなげるため、高校生が県内企業や産業等を学ぶ機会をさらに充実させます。

- 主な拡充内容：新
- ①県内公・私立高等学校の生徒代表が集まり、県内の魅力ある産業や文化を学び、課題の解決策を探る研修の実施(各高校代表2～3名(計100名程度)参加、県内2泊3日)
 - ②経営者等に「仕事や高知県で働くことへの思い、やりがい」等を聞くインタビューシップ実施校の拡大
(R6:2校→R7:10校)
 - ③女子生徒の企業交流会等の実施校の拡大 (R6:2校→R7:4校)
 - ④企業見学等の拡充(企業見学、ものづくり総合技術展への参加等の取組を普通科を含め全ての学校で実施するとともに、対話型企業説明会を中山間地域の学校でも実施)

1. 急速に変化する今後の社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進(続き)

新 **高校教育推進費(こうち未来創造グローバル人材育成事業(高校生の留学支援))**
16,422千円 (4,062千円) [R6:一千円 (一千円)]

グローバル 本県に対する愛着をもち、主体的に行動できるグローバルな人材を育成するため、国が展開する「トビタテ！留学JAPAN」を活用し、地域の課題解決や地域貢献をテーマとした県内高校生の「探究型海外留学」を企業等と連携して支援します。

■支援内容：県内企業等から寄附を募り、留学生に返済不要の奨学金・留学準備金を支給

拡 **高校再編推進費(高校魅力化コーディネーター配置事業)** **元氣な未来創造枠**
113,841千円 (108,358千円) [R6:25,150千円 (25,052千円)]

人口減少 少子化により今後さらなる生徒数の減少が見込まれる中で、県立高等学校再編振興計画の次期計画における「生徒数確保のためのアクションプラン」の着実な実行を図るため、地域との連携・協働や、中学生及びその保護者に向けた情報発信等を担うコーディネーターを県立高等学校に配置します。

■主な拡充内容：配置校の拡大(R6：5校 → R7：17校)

新 地域との連携・協働を推進する官民協働組織(地域コンソーシアム)の運営等への支援を専門機関に委託

新 **高校再編推進費(県立高等学校魅力化推進アクションプラン事業費補助金)** **元氣な未来創造枠**
47,500千円 (47,500千円) [R6:一千円 (一千円)]

人口減少 地元市町村と高等学校が連携して策定するアクションプランの実施に向け、市町村が行う生徒数確保などの取り組みに対して支援します。

■補助先：市町村(18市町村) ■補助率(補助上限額) 1/2以内(2,500千円) ■期間：R7～R9

拡 **高校再編推進費(高校魅力化プロモーション事業)** **元氣な未来創造枠**
47,572千円 (47,572千円) [R6:12,515千円 (12,515千円)]

人口減少 県外からの入学生の増加につなげるため、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームが東京・大阪で開催する合同学校説明会「地域みらい留学」に参加します。さらに、県独自の学校説明会「こうち留学フェア」を首都圏及び関西で開催します。

■主な拡充内容：地域みらい留学参加校の拡大(R6：6校 → R7：10校)

「こうち留学フェア」の参加校の拡大(R6：6校 → R7：21校)及び首都圏での開催

新 体験留学や施設見学などにかかる旅費の補助

1. 急速に変化する今後の社会を生き抜く力を身につけるための教育の推進(続き)

中学校・高校



遠隔教育推進事業費

34,190千円 (27,125千円)
[R6:41,599千円 (32,992千円)]



学校規模や地域間における教育機会の格差の解消を図るため、遠隔授業配信センターから全ての小規模高等学校に対して、難関大学への進学等の生徒のニーズに応じた授業や補習を配信します。また、県内中学校の免許外指導担当教員（美術、技術・家庭科）の教材研究等における負担軽減と授業の質の担保・向上のため、遠隔オンライン等による支援を行います。



学校保健指導費(いのちの教育プロジェクト事業費)

元気な未来創造枠

3,244千円 (3,244千円)
[R6:2,218千円 (2,218千円)]



性に関する正しい知識を身につけ、自他の命や体・心を大切にできる児童生徒を育成するため、産婦人科医等の外部講師と連携して性に関する指導を行います。また、中学生や高校生を対象に、乳幼児親子と触れ合う体験機会の場を提供します。

- 主な拡充内容：学校への外部講師（産婦人科医、助産師、大学教員）の派遣回数を増加
(R6:75校85回 → R7:85校100回)

新 中学生・高校生を対象とした乳幼児親子との触れ合い体験

保幼小連携

幼保連携推進費(保幼小連携・接続推進支援事業費等)

16,925千円 (8,163千円)
[R6:22,346千円 (7,349千円)]

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るため、「保幼小連携・接続モデル地域支援事業(R4～R6年度)」における成果を県内全域に普及させます。また、幼保支援アドバイザー等の派遣や各園のミドルリーダーに対する研修により、園内研修の活性化を図ります。

2. 多様な背景・特性・事情等を踏まえた包摂的な教育・支援の推進

小中学校

拡 豊かな心を育む教育推進費(不登校対策環境整備事業)

20,928千円 (12,102千円)
[R6:4,422千円 (2,420千円)]

教室に入りづらい児童生徒が、学校内で自分に合ったペースで学習・生活することができる「校内サポートルーム」の設置を促進するため、その運営に必要な人材配置を支援します。また、不登校児童生徒の個々の状況に応じた柔軟な教育課程を編成できる「学びの多様化学校」の設置に向けて、設置する市町村に対して、その準備段階から助言・協力を行います。

①不登校対策環境整備事業費補助金(市町村立小中学校における「校内サポートルーム」の運営に必要な人材配置の支援)

■補助先：市町村 ■補助率：2 / 3【国1/3 県1/3】 ■主な拡充内容：支援校の増(R6:6校→R7:15校)

新 ②不登校対策環境整備事業(県立中学校3校における「校内サポートルーム」の運営に必要な人材の配置)

小中高共通

豊かな心を育む教育推進費(相談支援体制充実費)

473,550千円 (366,814千円)
[R6:474,590千円 (369,411千円)]

専門的なアセスメントに基づいた相談支援体制を確立するため、スクールカウンセラーを全公立学校に配置するとともに、スクールソーシャルワーカーを全市町村及び全県立学校に配置します。

また、児童生徒や保護者がいつでも相談できる24時間電話相談や、高校生が悩みや不安等を気軽に相談できるSNS相談を実施します。あわせて、インターネット上のトラブル等を早期に発見し、早期に対応するため、学校ネットパトロールを拡充します。

新

豊かな心を育む教育推進費(フリースクール等支援事業費補助金)

6,600千円 (6,600千円)
[R6:一千円 (一千円)]

不登校児童生徒の学びの場を確保するため、一定の要件を満たすフリースクールの運営主体及び利用者に対して、支援を行います。

■補助先：フリースクール運営主体 ■補助率：1 / 2 ■補助対象経費：外部専門人材の謝金など ■補助限度額：750千円/年

■補助先：フリースクール利用者 ■補助率：1 / 2 ■補助対象経費：施設利用料(授業料)など ■補助限度額：15千円/月

新

心の教育センター費(メタバースの運営)

元気な未来創造枠

3,373千円 (2,706千円)
[R6:一千円 (一千円)]

デジタル

集団で過ごすことや人とかわることに不安があったり、学校へ通いづらさを感じたりしている児童生徒の居場所や学びの場を提供するため、自宅等からアクセスできるメタバース（仮想空間）を開設し、オンラインサポートを実施します。

2. 多様な背景・特性・事情等を踏まえた包摂的な教育・支援の推進(続き)

特別支援

拡 教育内容充実費（医療的ケア児の学校における支援体制充実事業費） **6,774千円 (3,906千円)**
[R6:5,111千円 (4,231千円)]

医療的ケア児に対する支援体制を充実させるため、学校看護職員等の専門性向上を目的とした研修を実施します。また、スクールバスに
乗車することが困難な医療的ケア児に対する通学支援を行います。

- 主な拡充内容：看護職員に対するeラーニングシステムによるオンデマンド研修の導入
災害時に備えた医療機器等の配備

グリー 施設整備費(特別支援学校の整備・改修(日高特支、山田特支)) **1,638,404千円 (337,204千円)**
[R6:199,559千円 (20,559千円)]

著しく老朽化が進んでいる日高特別支援学校の寄宿舎の北棟、南棟について、安全・安心な住環境の確保や将来の自立生活を見据え
た環境を整備するため、一棟に集約した上で改築を行います(木造3階建)。また、山田特別支援学校の北舎棟、南舎棟についても、長寿
命化改修を行います(RC造2階建)。

3. 生涯にわたって学ぶことができる環境づくりと活動・取組の推進

青少年教育施設整備費(青少年教育施設の整備) **301,278千円 (31,978千円)**
[R6:407,396千円 (16,911千円)]

青少年教育施設を安心・安全に利用できるよう、青少年センター体育館の非構造部材の耐震化や、芸西天文学習館の改築等に取り組
みます。

- 具体的な内容：青少年センター体育館の窓ガラスなど非構造部材の耐震化工事、空調整備に係る基本設計
芸西天文学習館の改築、アクセスルートのバリアフリー化に向けた基本計画の検討等

拡 図書館管理運営費(県民の読書・情報環境の拡充) **14,723千円 (14,723千円)**
[R6:11,723千円 (11,723千円)]

デンタル 県内のどの地域に居住していても、仕事や暮らしの中で生じる課題の解決に役立つ情報が収集できるよう、貸出型電子書
籍サービス「高知県電子図書館」と閲覧型電子書籍サービス「KinoDen」の充実を図ります。

- 主な拡充内容：電子書籍サービスの充実(高知県電子図書館 約1,500タイトル、KinoDen 約480タイトルを追加)

4. 各種施策を総合的・計画的に推進するための環境・体制等の整備

新 教職員費(学校における働き方改革推進モデル校事業委託料) 元気な未来創造枠 **17,968千円 (17,968千円)** **[R6:一千円 (一千円)]**

学校の状況や抱える課題を踏まえ、教職員の働き方改革をより一層進めるため、専門的知見を有するコンサルティング業者が直接モデル校(5校)に入り、伴走支援を行います。これにより、業務の効率化・削減、業務改善に向けて自走する組織の構築を進めます。

拡 教職員費等(教員業務支援員配置事業等) **310,563千円 (224,125千円)** **[R6:176,542千円 (134,807千円)]**

教員の業務負担の軽減を図り、児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、学習プリントの準備やプール監視補助などの業務を教員に代わって行う教員業務支援員等の配置を拡充します。

あわせて、メンタル要因による病気休暇や早期退職などの予防、ハラスメントへの早期対応のため、若年教職員を中心に学校訪問による相談対応を行うとともに、管理職等からの相談にも対応するなど引き続き相談体制の充実を図ります。

こうした働きやすい環境を整備しながら、高知県教員採用審査の志願者増加を図るため、高知県で教員として働く魅力を伝えるPR動画を、大都市圏を中心に効果的に配信します。

- 主な拡充内容：市町村立学校、県立学校における教員業務支援員の配置校数を拡大(R6：121校 → R7：227校)
関心のある層にターゲットを絞って届けるデジタルマーケティングの手法を活用し、受審者が多い年齢層、地域を中心にPR動画を配信

拡 小学校教職員人件費(小学校若年教員サポート事業) ※別途人件費として計上

若年教員の負担軽減を図るため、小学校の新規採用教員へのサポート教員の配置を拡充し、授業づくりや児童、保護者対応への指導、助言を行うとともに、必要に応じて代わりに授業を行うなど支援体制を整えます。

保育士等人材確保事業費 **144,804千円 (34,318千円)** **[R6:131,948千円 (31,100千円)]**

県社会福祉協議会の福祉人材センターにコーディネーターを配置し、求職者と保育職場とのマッチングに取り組みます。また、保育士資格の取得を目指す学生への修学資金の貸付を行います。あわせて、保育士の業務負担の軽減を図るため、保育補助者を配置する取組を支援します。

4. 各種施策を総合的・計画的に推進するための環境・体制等の整備(続き)

新

情報教育推進費(県立学校情報通信ネットワーク環境施設整備更新等委託料)

93,873千円 (63,606千円) [R6:一千円 (一千円)]

デジタル

県立特別支援学校の児童生徒等が1人1台端末を活用する上で必要となるネットワーク機器について、更新期を迎える機器を更新し、安定的なネットワーク環境を確保します。

新

情報教育推進費(県立学校情報通信ネットワーク(一般公衆回線)回線追加整備等委託料)

21,087千円 (15,722千円) [R6:一千円 (一千円)]

デジタル

県立高等学校に整備した1人1台端末がインターネットに接続するためのネットワーク回線について、同時に多数の生徒が端末を活用する場合にも安定して接続できるよう回線を増強して環境改善を図ります。

拡

情報教育推進費(公立学校情報機器整備費補助金)

1,306,061千円 (0千円) [R6:19,982千円 (0千円)]

デジタル

令和元年スタートのGIGAスクール構想において義務教育段階の学校に整備された1人1台端末について、各自治体が更新を行う経費を支援することで、学校のICT・デジタル環境の整備を図ります。

■ 主な拡充内容：更新対象自治体の増加

■ 補助先：市町村・組合（R6:3自治体→ R7:22自治体） ■ 補助上限額：児童生徒数(予備機15%)の2/3×5.5万円

施設整備費(県立学校施設長寿命化改修事業費)

180,031千円 (23,231千円) [R6:974,929千円 (24,829千円)]

学校施設の老朽化対策として、施設の機能を維持しながら長く使い続けるため、長寿命化改修を行うとともに、LED照明の設置などの省エネルギー化やバリアフリー化等を実施します。

4. 各種施策を総合的・計画的に推進するための環境・体制等の整備(続き)

施設整備費(県立学校空調設備整備事業)

377,914千円 (39,614千円)
[R6:476,992千円 (18,192千円)]

災害時には避難所としても活用される学校体育館において、熱中症対策等のために空調設備を整備します。

また、取付工事が不要で移動が可能なスポットクーラーも試行的に導入をします。

■ 具体的な内容：工事 3 カ所、設計 4 カ所、スポットクーラーの設置 2 カ所

新

学校体育推進費(水泳授業における安全管理研修会、熱中症対策)

2,822千円 (2,822千円)
[R6:一千円 (一千円)]

水泳授業における事故防止、安全対策を徹底するため、小学校の教員を対象とした外部講師による安全管理研修会を実施します。

また、学校体育活動等における熱中症事故の防止に向けて、運動前や運動中に暑さ指数を計測するための熱中症指標計を各県立学校に配備します。

拡

学校体育推進費(部活動地域連携等支援事業・運動部活動指導員配置事業)

91,522千円 (64,665千円)
[R6:87,105千円 (60,737千円)]

生徒の運動・スポーツ活動機会の確保及び教員の負担軽減を図るため、部活動の地域移行や地域連携（拠点校部活動）の実証事業を通して、市町村における部活動改革の取組を支援します。

また、市町村立中学校、県立中・高等学校に、専門的な指導ができる外部人材（運動部活動指導員）を配置します。

■ 主な拡充内容：実証事業の実施自治体（R6: 6 市町 → R7:10市町）